

令和5年4月26日～5月7日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第1報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

4月26日～5月7日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、期間後半に高くなり5月5日～6日は「注意」を示す21以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、5月2日は2以上低くなる一方、4日～6日は2程度高くなる等、暑さ指数(WBGT)は激しく変化しました(図1、表1参照)。

11都市(2)では、那覇で「嚴重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1、表2参照)。

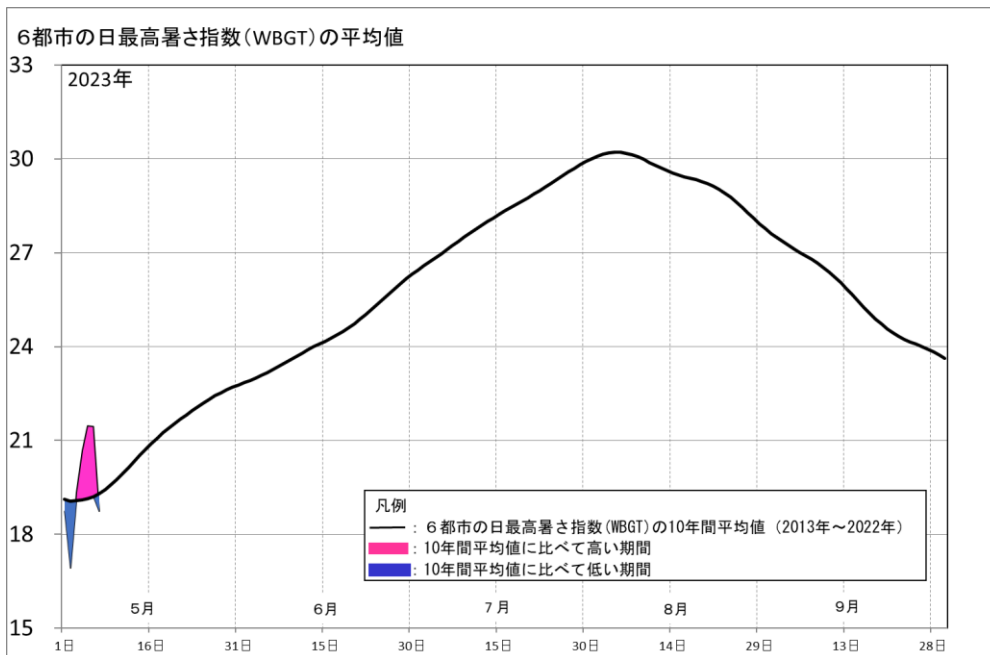


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(4月26日～5月7日)(注3)

月/日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市の平均
4月												
26	11.9	14.1	15.4	19.2	17.8	16.2	15.7	20.2	16.8	18.6	20.6	16.9
27	9.1	13.8	14.0	19.1	18.2	17.8	16.8	18.2	20.2	19.2	23.7	17.7
28	15.4	18.0	18.3	22.4	20.1	18.3	18.9	19.1	21.9	23.0	27.1	20.0
29	15.6	20.3	19.9	21.5	20.4	19.8	16.6	17.5	19.7	21.4	28.1	19.7
30	17.7	18.8	16.4	21.3	19.9	18.5	18.0	19.8	18.2	18.2	24.9	18.7
5月												
1	14.2	17.3	16.8	21.5	19.1	17.9	17.6	18.8	19.5	20.0	22.9	18.7
2	13.0	15.0	15.0	16.0	18.0	16.7	16.0	18.4	19.8	19.5	23.9	16.9
3	17.6	17.4	16.7	21.1	19.8	20.0	17.3	20.4	21.2	21.8	25.0	19.4
4	17.7	18.7	18.9	22.6	22.9	20.4	20.5	22.4	18.7	21.3	26.6	20.7
5	19.0	19.8	20.8	23.4	21.2	21.9	19.4	23.2	22.1	24.9	27.4	21.5
6	12.5	18.7	17.5	23.9	23.4	22.7	19.2	20.3	22.0	22.5	27.3	21.5
7	13.1	13.4	14.2	21.7	21.3	20.3	18.4	21.2	16.5	22.5	26.3	18.7

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の4月26日～5月7日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

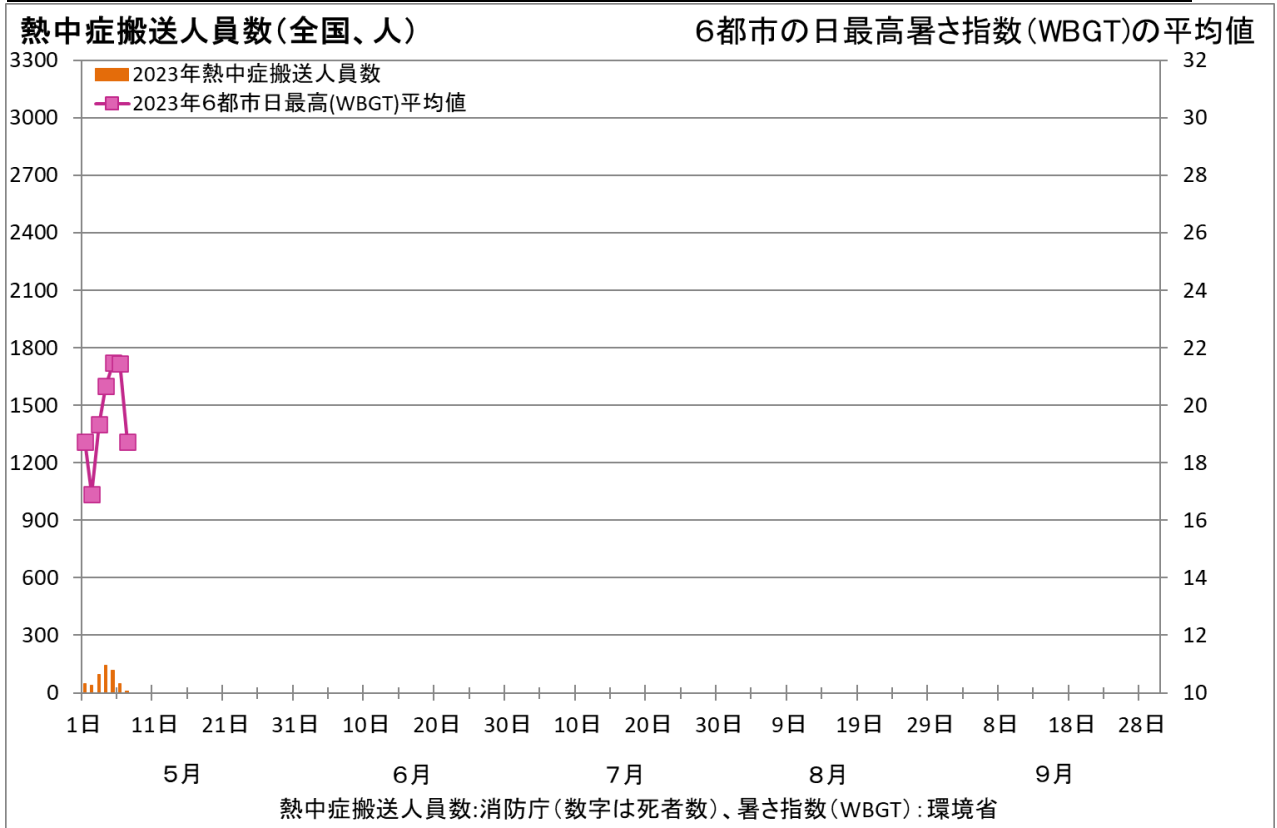


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

4月26日～5月7日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、期間後半に高くなり5月5日～6日は「注意」を示す21以上25未満となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が5月4日の143人、5日の117人などで、5月1日～7日の総数は495人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

4月26日～5月7日の間、熱中症警戒アラートの発表はありません（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（4月26日～5月7日）

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※1	中国	四国	九州北部※3	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※2	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し

5月13日までは、九州南部、父島（関東甲信）で「警戒」を示す25以上に、沖縄地方で「厳重警戒」を示す28以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（5月10日発表、5月11日～5月22日）によると、「北日本の気温は、13日頃までは低い日が多いですが、その後は暖かい空気に覆われやすくなるため平年並か高く、16日頃からはかなり高い所があるでしょう。農作物の管理等に注意してください。東日本、近畿地方、中国地方の気温は、14日頃までは平年並か低いです、その後は平年並か高いでしょう。四国地方、九州北部地方、九州南部、沖縄・奄美の気温は、向こう1週間程度は大陸からの冷涼な空気の影響で低い日が多く、かなり低い所もあるでしょう。その後は平年並でしょう。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

